

いちはら 社協だより



社協だより5/20、1/20発行号は、町会長の皆様にご協力いただき町会回覧にて世帯配付しています。

【発行】市原市社会福祉協議会 〒290-0075 市原市南国分寺台4-1-4 TEL.0436(24)0011 FAX.0436(22)3031

《民生委員・児童委員功労》
佐藤 繁 曾我 順子 山本 富彦
青木 律子 安本 光治 鈴木 俊江
齋藤 浩子 内山 備 安部 富見子
小倉 春男 木村 文子 小田 島敦子
鈴木 俊一 大内 惣代治 園田 幸伸
田中 君男 渡邊 登志子 二田 三津子
濱田 悟郎 田山 道雄 加藤 重男
中嶋 寿美恵 村石 仁子 花澤 廣吉
中川 富貴子 穴倉 光夫

《社会福祉施設・団体関係職員功労》
富岡 将訓 松本 邦彦 正木 早織
伊東 伸之輔 高橋 博人 田中 真由美
長井 静子 秋葉 裕子 石橋 ひとみ

千葉県社会福祉協議会会長表彰

《民生委員・児童委員》
富田 清



11月14日(火)千葉県文化会館で開催

第67回 千葉県社会福祉大会

多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方が表彰されました。長年のご苦労に心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。
なお、本市関係者の受賞者は次のとおりです。
(順不同、敬称略)

福祉功労者表彰



がんばれ!のかけ声を。 五所小学校区小域福祉ネットワーク

「餅つき大会」

12月8日(金)五所小学校において、五所小学校区小域福祉ネットワークの主催により、地域の方や小学校児童などを対象とした「餅つき大会」が開催されました。

平成24年度より、「児童と高齢者及び地域住民の交流の場づくり」という目的で開催しており、毎年多くの方が参加されています。今年も、415名の方が参加し、会場は活気であふれていました。お餅をつく子どもを、地域の方がサポートし、「がんばれ!」の掛け声とともに会場全体が笑顔で包まれていました。

事業を終えて、坂井会長は「次年度以降も、餅つき大会を継続していきたいです。高齢者が増加していく中で、今後、小規模単位での多様なイベントを模索していくが必要になるでしょう。」と語ってくれました。



新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年中は、市原市社会福祉協議会の事業推進にあたり格別のご厚情とご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。
本年も、皆さまと協働で地域福祉の推進に邁進して参りたいと存じますので、皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
併せて、皆様のご多幸とご健康を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十年 元旦

社会福祉法人市原市社会福祉協議会
会長 深谷みどり

上総いちはら 国府まつりに参加

千葉県共同募金会市原市支会では、第7回上総いちはら国府まつりに参加し、「街頭募金」と「ポップコーン」&「飲み物」の販売をしました。
ご協力いただいた皆さま、どうもありがとうございました。

実績	募金額	26,644円
	ポップコーン及び飲み物	217,450円
	合計	244,094円

※この売り上げは、全て共同募金として千葉県共同募金会へ送金させていただきます。



こちらボランティアセンターです。

「活動をしたいけど資金が心配」とお困りの皆さん。助成金を得て活動を発展させましょう!

300万円助成!!

ノエビアグリーン財団助成

対象団体 児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動やスポーツの振興に関する事業を積極的に行っている団体。

助成金額 1件あたり上限300万円

申込締切 平成30年2月28日(水) 当日消印有効

問合せ先 公益財団法人 ノエビアグリーン財団

〒104-8208 東京都中央区銀座7-6-15

TEL:03-5568-0305(9:00~17:30)

※土日祝日・年末年始除く



他にも助成金情報がありますので、お気軽にお問い合わせください。

ボランティアセンター 【TEL】20-3100 【FAX】22-3031
【受付時間】月～金(平日)8:30～17:15

ありがとう

寄附 (8月～11月) 敬称略

- 市原市ライオンズクラブ 10,000円
- H23年度国分寺台中学校卒業生 49,966円
- 千葉よみうりカントリークラブ 104,548円
- ドリームチャリティーゴルフ 100,000円
- 明治大学校友会 市原地域支部 40,000円
- 匿名 光風台在住 9,000円
- 匿名 若宮在住 10,000円
- 匿名

「平成29年度 笑って学べる! 誰でもわかる成年後見早わかり講座」開催

お笑い芸人のトークや弁護士による解説を通して、分かりやすく成年後見制度の概要や職務を伝え、制度の利用促進や周知を図ります。

【日 時】平成30年2月25日(日) 13時～16時

【会 場】千葉県経営者会館6階大ホール 【定 員】200名(先着順)

【参加費】無 料 【申 込】申込書をFAXまたはE-mailで送信

【締 切】平成30年2月15日(木)必着

【申込・問合せ先】千葉県後見支援センター TEL:043-204-6012

E-mail:smile@chibakenshakyo.com



「みんなでつくるまちづくり」

五井福祉ネットワーク設立!



12月9日(土)、「五井福祉ネットワーク」の設立総会が開催され、市内で42団体目となる小域福祉ネットワークが誕生しました。今後は、同じ地域に暮らす住民同士のつながりをさらに深め、地域全体で支え合い、助け合うこと

のできる仕組みづくりに取り組んでいく予定です。
五井小学校区にお住いの皆様には、小域福祉ネットワークの趣旨をご理解いただくとともに、ネットワーク活動へのご参加もお待ちしております。



小域福祉ネットワークとは...

市原市が策定した「市原市地域福祉計画」に基づき、小学校区(小域福祉圏)ごとに設置が進められており、地域住民が主体となって、小域福祉圏における様々な地域課題やニーズを把握するとともに、それを解決するための話し合いや活動を行っていくことを目的としています。

平成29年度

「住民参加で支え合い」

市原市地域福祉関係者 合同研修会

誰でも参加できます!

市原市では、誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

高齢者を地域で支える仕組みづくりを学び、住民参加による介護予防や支え合い・助け合いの取り組み、様々な担い手による支援体制について考える「市原市地域福祉関係者合同研修会」を開催します。

高齢者支援活動に関心を持つ方はぜひ参加してください。

主催 市原市 社会福祉法人市原市社会福祉協議会

日時 平成30年2月22日(木)14時30分～16時30分

会場 市原市市民会館 大ホール(市原市惣社1-1-1)

定員 300名(先着順) 参加費 無 料

申込 電話またはFAX、E-mailにて申し込み(平成30年2月16日(金)締切)

申込・問合せ先 市原市社会福祉協議会

TEL:0436-24-0011 FAX:0436-22-3031

E-mail:sionoya@ichihara-shakyo.or.jp





もしもの災害に備えて!!!

一人ひとりの普段からの防災意識が大切です!



11/23

市社協の取り組み

災害ボランティアセンター設置運営訓練

市協では、市内で大規模災害が発生した場合に備え、災害ボランティアセンターの設置・運営に関する「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を毎年度実施しています。

今年度も災害支援活動に取り組む様々な機関・団体が協力して、地区社協や小域福祉ネットワークの活動者、千葉県立京葉高等学校や千葉県立市原緑高等学校の生徒など総勢103名が参加して訓練を行いました。



「人と人をつなぐ」 災害ボランティアセンターとは…

災害ボランティアセンターは、災害時に“支援を必要とする人”と“ボランティア活動を行う人”をつなぎ、調整する組織で、市原市では、市協が中心となって設置・運営します。

災害ボランティアセンターの活動内容

●被災地のニーズの把握

家の片づけ、避難所でのお手伝いなど、被災地のニーズを収集します。

●ボランティアの受け入れ

災害ボランティアセンターの立ち上げを、情報発信し、活動を希望するボランティアの受け入れを行います。



●ボランティア活動の実施・調整

被災された方々からの要望に合わせて、駆けつけていただいたボランティアの活動を調整、送り出しをします。



●報告の検証

日々変化する被災地の状況に応じ、活動の問題点や改善点を検討し、翌日以降の運営に反映していきます。

学生ボランティア からの声

初めは何をしたら良いのか分からなかったのですが、スタッフの方々に優しく声をかけていただき、積極的に行動することができました。(潤間生くん)



初めての経験で戸惑いもありましたが、大変良い経験になりました。今後もボランティア活動を積極的に行っていきたいです。(秋葉光さん)

自分たちが知らなかったことを沢山学べた良い機会でした。(小玉哲也くん)

災害ボランティア一日の流れ

① 受付

ボランティア活動の受付、ボランティア活動保険(天災タイプ)に加入します。



② オリエンテーション

体調、服装や持ち物の確認。無理をしない活動などボランティア活動の注意点の確認。

③ ボランティア活動の決定

被災された方々からの要望に対して、支援に必要なボランティア活動者が割り振られ派遣先へ向かいます。

④ ボランティア活動

依頼場所に移動し、被災された方々からの要望に合わせて、復旧、復興に関する活動を行います。

⑤ 活動報告

活動が終了したら、ボランティアセンターに戻り活動の報告をします。その日に終わらなかった活動は、翌日以降もボランティアが引き継ぎ活動します。



地区の取り組み

中学校と連携した避難所運営

国分寺台地区社会福祉協議会

今年度、中学校と連携した災害ボランティア育成事業を予定。これまでは町会向けに、ゲーム形式で避難所運営の体験をする「HUG訓練」を実施。昨年度より、災害発生時の支え合い・助け合いづくりを更に強化するため、当地区の中学校と連携して事業を展開しています。

災害ボランティア育成事業への学生参加で、学校にある資源を上手く活用することが可能になります。例えば、「停電になった時、理科室にアルコールランプがある」「ケガ人が出た時、保健室へ行かなくても部室に救急箱がある」など。避難所(中学校)を良く知っている学生は、災害発生時の重要な「ボランティア」としての活躍が期待されます。被災時には、大人だけでなく中学生を含めた学生たちの力が、非常に役立ちます。

当地区社協は、災害発生時に、地域全体で対応できるよう、更なる防災・減災意識の普及啓発や災害支援ボランティア活動のための環境づくり・意識づくりに取り組み、災害時支援体制づくりを推進します。



1,680名が参加! 総合避難訓練実施

戸田小学校区小域福祉ネットワーク



11月23日「総合避難訓練」を実施しました。この訓練は、「戸田小学校区小域福祉ネットワーク」主体で平成27年度に発足し、今年で3回目の開催となります。

当日は雨の中、町会関係者や各種構成団体、学生等を含む総勢1,680名に参加いただきました。訓練では、災害が起きたことを想定し、最寄りの一時避難場所へ向かい、非常食の配布訓練も行いました。その後、小学校体育館で、講師に救命救急士でもある国際医療専門学校増茂顧問より「災害時の心構え」の講義をして頂き、同時に心肺蘇生法等の講習も行いました。蘇生法の講習では、40名を超える専門学生に協力して頂き、訓練参加者に分かりやすく指導を行って頂きました。訓練終了後、参加者へ炊出し班より温かいみそ汁の配布も行い、喜ばれました。

毎年このような訓練を実施することは、災害時の対処法や互助の意識を強めることになります。また災害が起きた際、近所同士の「自助」「共助」が重要となります。今以上に地域の様々な方に声掛けし、地域貢献できる人の発掘や災害に対する意識の向上に努めていきます。今後も「自分たちで安心・安全な地域をつくる」ことを目標に、改めて災害時に備えた訓練や対策等を計画し、地域の関係団体と協力しながら取り組みを一層進めていきます。



高校生58名が参加!

青少年ボランティア養成講座

今年度で2回目となる「青少年ボランティア養成講座」を11月19日、23日の2日間実施し、千葉県立京葉高等学校と千葉県立市原緑高等学校の生徒延べ58名が参加しました。

1日目は午前中に「災害時のボランティア活動」や「災害ボランティアセンターについて」を学び、昼食は災害食作りにチャレンジ。ポリエチレン袋一つでパスタが出来ることにみんなビックリ!!おいしい昼食が出来ました。午後からは「災害時にボランティアとして何ができるか…」グループ毎に話し合いを行い発表しました。

2日目は、災害ボランティアセンター設置運営訓練にスタッフや駆けつけボランティア役として参加しました。

2日間を通して、「大規模災害が発生した際に、自分たちに何ができるか」を考える時間になったと思います。ご協力いただいた関係者の皆さん、ご参加いただいた高校生の皆さん、ありがとうございました。

